

地球温暖化対策計画書

1 指定地球温暖化対策事業者の概要

(1) 指定地球温暖化対策事業者及び特定テナント等事業者の氏名

指定地球温暖化対策事業者 又は特定テナント等事業者の別	氏名（法人にあつては名称）
指定地球温暖化対策事業者	昭和飛行機工業株式会社
特定テナント等事業者	株式会社イトーヨーカ堂
特定テナント等事業者	株式会社松竹マルチプレックスシアターズ
特定テナント等事業者	アーバンリゾート昭和の森株式会社

(2) 指定地球温暖化対策事業所の概要

事業所の名称		モリタウン							
事業所の所在地		東京都昭島市田中町562番地1							
業種等	事業の業種	分類番号	I50	I_卸売業_小売業		各種商品卸売業 <input type="checkbox"/>			
		産業分類名	各種商品卸売業 <input type="checkbox"/>						
	事業所の種類	主たる用途	商業						
		用途別内訳	建物の延べ面積 (熱供給事業所にあつては熱供給先面積)	前年度末	133,929.08	m ²	基準年度	133,506.00	m ²
			事務所	前年度末	4,477.04	m ²	基準年度	4,477.00	m ²
			情報通信	前年度末		m ²	基準年度		m ²
			放送局	前年度末		m ²	基準年度		m ²
			商業	前年度末	106,871.88	m ²	基準年度	106,924.00	m ²
			宿泊	前年度末		m ²	基準年度		m ²
			教育	前年度末	1,197.04	m ²	基準年度		m ²
			医療	前年度末		m ²	基準年度		m ²
			文化	前年度末	21,383.12	m ²	基準年度	22,105.00	m ²
			物流	前年度末		m ²	基準年度		m ²
駐車場	前年度末			m ²	基準年度		m ²		
工場その他上記以外	前年度末		m ²	基準年度		m ²			
事業の概要		昭島駅北口にショッピングセンター（物販、飲食）映画館（MOVIX）スポーツセンター（テニスコート、フィットネスクラブ）昭島昭和第2ビル等を賃貸及び運営している。							
敷地面積		157,269.00 m ²							

(3) 担当部署

計画の 担当部署	名 称	リアルエステート事業部
	電 話 番 号 等	042-543-9517
公表の 担当部署	名 称	総務部
	電 話 番 号 等	042-541-2111

(4) 地球温暖化対策計画書の公表方法

公表方法	ホームページで公表	アドレス： http://www.showa-aircraft.co.jp/
	窓 口 で 閲 覧	閲覧場所：
		所在地：
		閲覧可能時間
	冊 子	冊子名：
入手方法：		
そ の 他	アドレス：	

(5) 指定年度等

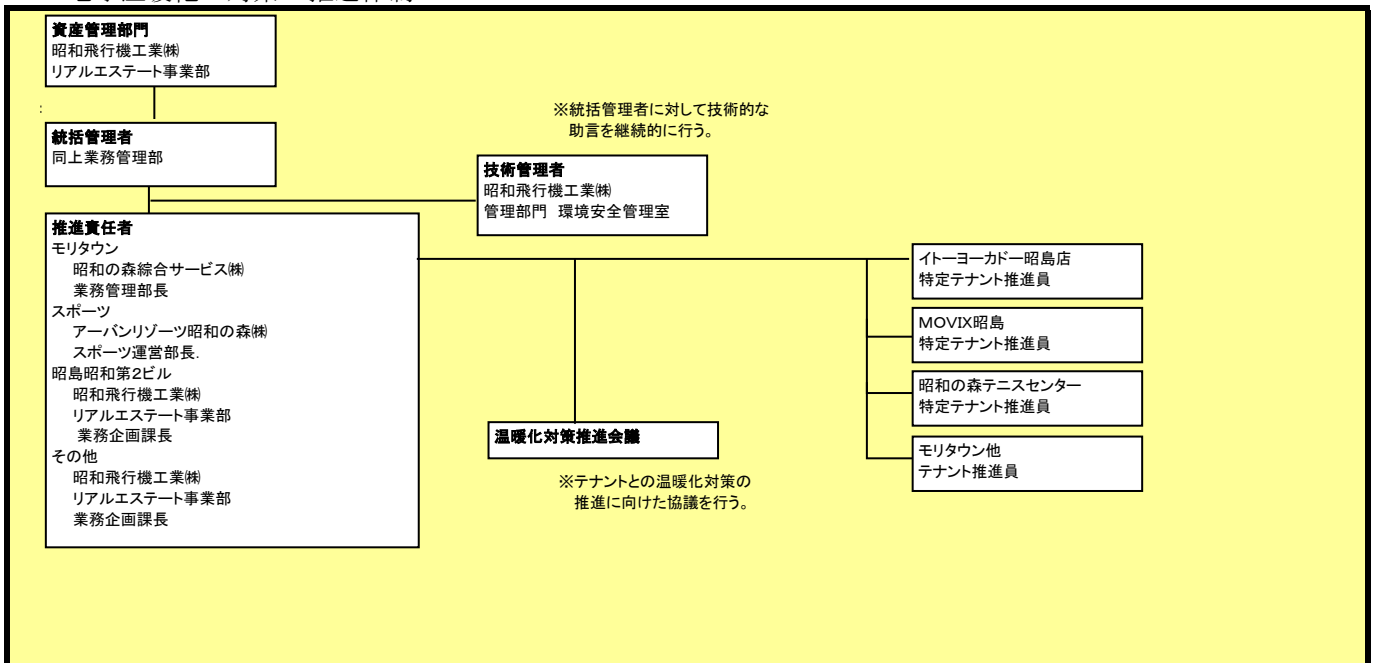
指定地球温暖化対策事業所	2009	年度	事業所の使用開始年月日	2010	年	1	月	7	日
特定地球温暖化対策事業所	2009	年度							

2 地球温暖化の対策の推進に関する基本方針

当社では日頃から環境配慮の積極的な取り組みを進めている。
その中で以下の2点を重視して地球温暖化対策に取り組む。

1. 事業所での省エネの取り組み
2. 社員・入居テナントに対する環境意識向上のための啓発活動

3 地球温暖化の対策の推進体制



4 温室効果ガス排出量の削減目標（自動車に係るものを除く。）

(1) 現在の削減計画期間の削減目標

計画期間	2015 年度から 2019 年度まで			
削減目標	特定温室効果ガス	前年度までの実績を分析し、エネルギーの使用量の最適化・効率化を追求するとともに、入居テナントと一体となって運用対策を実施する事により、総量削減義務以上の削減を目指す。		
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	当事業所から排出される特定温室効果ガス以外の、その他ガスは水道の使用及び下水道への排水に伴う二酸化炭素の排出が主体となっている。従って節水を行う事で、その他ガスを削減する。		
削減義務の概要	基準排出量	19,411 t（二酸化炭素換算）/年	削減義務率の区分	I-1
	排出上限量（削減義務期間合計）	80,560 t（二酸化炭素換算）	平均削減義務率	17.00%

(2) 次の削減計画期間以降の削減目標

計画期間	2020 年度から 2024 年度まで	
削減目標	特定温室効果ガス	高効率設備への更新などにより、基準排出量の更なる削減を図る。
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	現在の削減期間と同様に継続的に節水を行うことで、その他ガスの排出量を削減する。

5 温室効果ガス排出量（自動車に係るものを除く。）

(1) 温室効果ガス排出量の推移

単位：t（二酸化炭素換算）

		2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
特定温室効果ガス (エネルギー起源CO ₂)		13,389	13,705			
その他ガス	非エネルギー起源 二酸化炭素 (CO ₂)					
	メタン (CH ₄)					
	一酸化二窒素 (N ₂ O)					
	ハイドロフルオロカーボン (HFC)					
	パーフルオロカーボン (PFC)					
	六ふっ化いおう (SF ₆)					
	三ふっ化窒素 (NF ₃)					
上水・下水		109	107			
合計		13,498	13,812			

(2) 建物の延べ面積当たりの特定温室効果ガス年度排出量の状況

単位：kg（二酸化炭素換算）/㎡・年

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
延べ面積当たり 特定温室効果ガス 年度排出量	100.0	102.3			

6 総量削減義務に係る状況（特定地球温暖化対策事業所に該当する場合のみ記載）

(1) 基準排出量の算定方法

<input checked="" type="radio"/> 過去の実績排出量の平均値	基準年度：（ 2006年度、2007年度 ）
<input type="radio"/> 排出標準原単位を用いる方法	
<input type="radio"/> その他	算定方法：（ ）

(2) 基準排出量の変更

	前削減計画期間	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
変更年度						

(3) 削減義務率の区分

削減義務率の区分	I - 1
----------	-------

(4) 削減義務期間

2015 年度から 2019 年度まで

(5) 優良特定地球温暖化対策事業所の認定

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
特に優れた事業所への認定					
極めて優れた事業所への認定					

(6) 年度ごとの状況

単位：t（二酸化炭素換算）

		2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	削減義務期間合計
決定及び予定の量	基準排出量 (A)	19,411	19,411	19,411	19,411	19,411	97,055
	削減義務率 (B)	17.00%	17.00%	17.00%	17.00%	17.00%	
	排出上限量 (C = Σ A - D)						80,560
	削減義務量 (D = Σ (A × B))						16,495
実績	特定温室効果ガス排出量 (E)	13,389	13,705				27,094
	排出削減量 (F = A - E)	6,022	5,706				11,728

(7) 前年度と比較したときの特定温室効果ガスの排出量に係る増減要因の分析

増減要因	<input type="checkbox"/> 削減対策	<input type="checkbox"/> 床面積の増減	<input type="checkbox"/> 用途変更
	<input type="checkbox"/> 設備の増減	<input checked="" type="checkbox"/> その他	
具体的な増減要因	<ul style="list-style-type: none"> テナント（スイミングスクール）のリニューアルオープンに伴い、都市ガス使用量が増加した。 空調の熱源である冷温水機（4月～10月使用）及びボイラー（1月～3月使用）の都市ガス使用量が増加した。 		

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
		【特定温室効果ガス排出量の削減の計画及び実施の状況】			
1	110200	11_主要設備等の保安全管理	熱源機器のオーバーホール	2012～	吸収式冷温水発生器
2	120200	12_冷凍機の効率管理	COP改善のための機器更新	2010～	
3	130200	13_空気調和設備の効率管理	高効率型空気調和器への更新	2010～	
4	130200	13_空気調和設備の効率管理	高効率型空気調和器への更新	2011～	社員食堂用
5	130200	13_空気調和設備の効率管理	空調設備のインバーター化	2012～	
6	150200	15_照明設備の運用管理	高効率照明器具への更新	2012～	本館塔屋照明を水銀灯からLEDへ更新
7	150200	15_照明設備の運用管理	高効率照明器具への更新	2012～	トザラス、スポーツデポ 屋上駐車場照明を水銀灯からLEDへ更新
8	150200	15_照明設備の運用管理	高効率照明器具への更新	2014～	東館塔屋照明を水銀灯からLEDへ更新
9	150200	15_照明設備の運用管理	高効率照明器具への更新	2013～	東館飲食店客席部(フードコート)照明LED化
10	150200	15_照明設備の運用管理	屋外照明（非常灯兼用）の昼間時間帯消における消灯機器設置	2012～	消防許可済
11	160100	16_昇降機の運転管理	エレベーターの更新	2012～	本館・油圧式をロープ式へ変更
12	160100	16_昇降機の運転管理	エスカレーターの更新	2012～	
13	150100	15_受変電設備の管理	高効率変圧器への更新	2008～	
14	130200	13_空気調和設備の効率管理	運転パターンの変更	2011～	
15	130100	13_空気調和の管理	設定温度の適正化・変更	2008～	

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
	【その他ガス排出量の削減の計画及び実施の状況（その他ガス削減量を特定温室効果ガスの削減義務に充当する場合のみ記載）】				
51					
52					
53					
	【排出量取引の計画及び実施の状況】				
61					
62					
63					

8 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（自動車に係るものを除く。）

当社では、日頃から環境配慮の積極的取り組みを進め、以下の点を重視し地球温暖化対策に取り組み、温室効果ガス削減に努めた。

1. 事業所での省エネの取組

施設管理側で計画期間内に削減目標を達成するため、率先して対策を行い、省エネタイプへの照明器具、高効率

型空調機器、昇降設備更新等により、ほぼ計画通り達成できた。

又、デマンド監視装置導入により、タイムリーな電力量の把握、高負荷時の早期回避対策等、更なる省エネにも取り組んでいる。

2. 社員、入居テナントに対する環境意識向上の為の活動

社員、入居テナント従業員へ環境に対する意識向上に向けた取組を推し進め、商業施設では、廃棄物計量制度の導入により、廃棄物削減、リサイクル意識向上にむけた活動を行っている。